

第166回 ふじのくに防災学講座

以下のとおり、ふじのくに防災学講座を実施しました。

- 日 時 令和6年9月21日（土）午前10時30分～正午
- 開 催 静岡県地震防災センター2階ないふるホール および Zoom 配信
- 参加者 会場：33人 Zoom：46人

テーマ

海底に記録される地震・津波の記録

講 師

東海大学 海洋学部 横山 由香 助教

講座概要

地震大国である日本では、近年でも2011年東北地方太平洋沖地震、2016年熊本地震、2018年北海道胆振東部地震、2024年能登地震が発生し、各地に被害をもたらした。災害時には、各地域に災害による地質記録が残る。その記録から、現在から過去に至る災害史を明らかにすることで、防災・減災に向けた情報を発信できる可能性がある。特に、2011年および2024年の地震では、それに伴い津波も発生し、沿岸域は大きな被害を受けた。2011年地震では、発生直後から海域から陸上にかけて多くの調査が行われ、災害による様々な痕跡が確認された。今回は海底から読み解く災害記録について紹介したい。



講師：横山 由香 氏